

～学力向上だより～

山鹿チャレンジ

No.2

令和2年7月27日

山鹿小学校学力向上推進委員会



★ 家庭学習チェック週間の結果

1学期末の家庭学習チェック週間が終了しました。前回の課題となった「1日のゲーム・スマホ等の使用の時間」や「テレビを消しての学習」など、学校の方でも指導を行い改善を図っていきました。好転した部分もありましたが、次に向けての課題も見つかっております。前回との比較でグラフを提示しておりますので参考にし、今後の家庭学習に生かしていただければと思います。

まず、改善傾向にある項目です。1日のゲーム・スマホ等の使用時間ですが、各学級でも指導を行い、個人のめあての中にも「ゲームで遊ぶ時間を減らし学習時間を長くする」など、意識の変化が見られました。(資料①) まだまだ、時間的には削減が必要だと思えますが、この期間だけの取組に終わらず継続していくことができればと思います。

次に、1日の家庭学習の平均時間が、若干長くなりました。(資料②) 就寝時刻が前回とほとんど変わっていませんので、1日のゲーム・スマホ等の使用時間が減少したことが、家庭学習時間に影響を及ぼしているのかもしれません。学習は、家庭に限らずいろいろなところでできます。塾や家庭教師、また、学童など学習の形態や方法は様々です。しかし、今後の激動の社会の中を生き抜いていくには、与えられた時間だけで学習するのではなく、自分で時間を生み出して学習に取り組める子どもたちの育成が必要です。今年は特に、コロナ禍の中での新しい生活様式への転換が必要になってきました。家庭の中で時間を生み出す「家庭学習」の定着を図っていききたいものです。

また、前は、学校で定めた家庭学習目標時間でしたが、今回は、各自で設定した目標時間の達成状況を調査しました。これは、個の状況を考慮してのことです。家庭での学習が学年目標時間を確保できなかったり、毎日、それより多く学習したりと個人差が大きいため、各自で目標を設定して、その時間を確保する方法にしました。グラフ(資料③)は、その目標に対して目標達成できたかできなかったを表しています。自分が立てた目標ですので、今後、100%を目指したいものです。

好転しているデータだけではありません。翌日の準備(資料④)については、鉛筆削ったりランドセルに入れたりとどちらも1回目を下回っています。各学級での忘れ物も増えたのではないのでしょうか。学習準備は、学習を保障していくために必要なことです。まずは、学習準備を徹底しましょう。

今回のこの結果を受けて、学校の方でも「家庭学習」について指導をしていきます。各ご家庭でも、自ら学ぶ姿勢を養うため自主的な家庭学習を推進していきましょう。

